



ゆうきくんは今にも飛び出しそうなトノサマバッタをかきました。細かなところも観察していて、とても迫力のある表現になっています。昆虫も絵をかくのも大好きなゆうきくんです。

『草の中にあるトノサマバッタ』

小樽市 入船小学校2年生 齋藤 裕貴さん



たかし君はめがねに手を添えて少しすました顔を表しました。しっかりとした彫が背景の黒と美しいバランスをつくりだしています。木版画のよさが伝わってくる作品になっています。

『自画像』

江別市 野幌小学校4年生 鈴木 貴士さん



大きなにじいろのさかなが体をゆったりと動かしながら、いろいろな海のなかまたちとお話しています。

『にじいろのさかな』

札幌市 月寒小学校1年生 末田 琴音さん



自分の町の神社を微妙な色彩の変化まで見取ってかいています。遠景の樹木もタッチを生かした重色で丁寧に表現しました。

『厚真神社』

厚真町 厚真中央小学校5年生 山野下明音さん



ホイールローダーのどっしりとした大きさと支えるタイヤの力強さが伝わってくる作品です。地面のじゃり石も一つ一つ工夫して表現しています。

『大きなホイールローダー』

新十津川町 新十津川小学校3年生 木村 陽菜さん



秋から冬への訪れを感じさせる色使いの秀逸さには、驚きさえ覚えます。自然に恵まれた環境の中で、自分の「こうしたい」を丁寧に表現しています。

『私の身近に秋の風景』

釧路町 遠矢中学校2年生 鈴木沙由里さん

第40回教育美術展 作品寸評から。。。

<http://hokuzou.kir.jp/> で他100点の作品もご覧いただけます

検 索

▶北海道造形教育連盟 | ◀

<目次>

- ・第40回教育美術展奨励賞作品 1〈表紙〉
- ・北海道造形教育連盟会長挨拶 2
- ・今年度の研究について 3
- ・第64回全道造形教育研究大会 上川・旭川大会 ... 4~7
- ・活動報告 釧路造形教育研究会 7
- ・第41回教育美術展応募要項について 8



自分の生活をモチーフとしていることに意味を感じます。よく観察して、タッチを生かしく細かくかき込んでいます。学級に対する愛着が感じられる作品です。

『楽しい教室』

富良野市 山部小学校6年生 井上 悠さん



北海道
造形教育
連盟報

No.138 2014.7.1発行
発行 北海道造形教育連盟
会長 安木尚博 (札幌市立札幌小学校長)
事務局長 三井 哲 (札幌市立北白石小学校長)
事務局 札幌市立北白石小学校
〒003-0086
札幌市白石区北郷6条3丁目5-2
TEL(011)871-1524・FAX(011)871-3276



子どもの育ちのために、私たちが学び合うこと

北海道造形教育連盟

会長 **安木 尚博**
(札幌市立札幌小学校長)

■目の前の子どもを育む

幼児、児童、生徒と、校種は異なるものの私たち教師が、人が育つ過程に大きく影響していることは間違いのないことです。だからこそ、その責任や役割を担っていることに対して、真摯に受け止め、積極的に教師自身が学ぶ存在でなければならぬと考えるのです。多くの教師が誰もが自覚し、そのための努力を日々積み重ねているのですが、そのことが十分には理解されていない場面に出会うことも残念なことではあります。まだまだあります。このことは、課題として常に語られてきたことでもあります。北海道造形教育連盟は昭和26年11月24日に北海道図画工作連盟として産声を上げ64年目を迎えます。子どもたちと共に歩み、寄り添い、子ども一人一人が自らの表現に自信をもち、望ましい人間形成につながる造形教育を求めて研究を積み上げてきました。毎年、開催する全道造形教育大会は、これまでも私たちが教師であるための学ぶ場でありました。これからもそのことが変わることはないでしょう。

■学び合うこと=連携

4月26日(土)の委員総会研修会では、今年度の活動方針の基、新しい体制で今後を見据えた組織の強化と研究や研修の充実を目指していくことを確認しました。北海道造形教育連盟は、現在19のサークルで構成されています。環境や事情等異なるそれぞれの地域で、志を共にする仲間が、日々子どもたちのためにがんばっています。多くの会員を有するサークルもあれば、少ない人数で、精一杯の取り組みをしているサークルもあります。

毎日の授業をどう改善していくことが、子どもたちのためになるのか、図画工作科の楽しさ、おもしろさをもっと子どもたちにふれさせたい。様々な思いを受け止め、相互に知恵を出し合い、実践を交流し合い、共に学び合うことから強い絆が生まれ連携を創りあげることができると思っています。

■上川・旭川大会に期待する

第64回全道造形教育研究大会は7月29日(火)に旭川市立永山小学校、同永山中学校を会場に16の授業公開、旭川美術館での造形教育を語る集いが予定されています。幼、小、中、高、そして特別支援における図画工作科の授業からは、きっと多くのことが学べるものと確信しております。

研究主題「わたしを創る～自立と共生の造形活動を目指して～」は、前回の上川・旭川大会から新たに設定されたものです。再び旭川の地に戻ってきたこととなりますが、今回は、大会研究テーマに『「わたし」の喜び』あふれる造形活動を掲げ、この間に深化、拡充した研究の取り組みの成果を子どもの姿を通して見るができるのではないのでしょうか。

また、関係各所のご協力、連携を積極的に行うことと実現した「アートキャンプ in 北海道」も大会翌日に開催されます。まさに教師が学ぶ大会と言えます。ぜひ、ぜひ、一人でも多くの先生方に来ていただければと思います。

上川造形教育研究会・旭川市教育研究会図工美術部会の先生方には、大会に向けて、準備段階から精力的に取り組み、全道の仲間に学ぶ場を提供していただけることに心より敬意を表するとともに、感謝を申し上げます。

北海道造形教育連盟役員・本部事務局

- 会長 安木 尚博 (札幌市立札幌小学校長)
- 副会長 佐藤 之憲 (旭川市立東栄小学校長)
- 副会長 土谷 敬 (函館市立湯川小学校長)
- 副会長 奥田 泰朗 (釧路市立朝陽小学校長)
- 副会長 池田 元治 (石狩市立浜益小学校長)
- 副会長 岡澤 邦彦 (札幌市立西岡中学校長)
- 監査 森 洋 (旭川市立啓北中学校)
- 監査 仲井 靖典 (函館市立潮見中学校)
- 事務局長 三井 哲 (札幌市立北白石小学校長)
- 会計 加藤 雅子 (札幌市立栄東小学校長)
- 会計次長 阿部 時彦 (札幌市立定山溪中学校長)

- 事務局次長 八田 博之 (札幌市立中央小学校)
- 事務局次長 福島由紀子 (札幌市立円山小学校)
- 事務局次長 向井 正樹 (札幌市立真駒内中学校)
- 事務局次長 平井 歩 (札幌市立啓明中学校)
- 研究部長 湯浅 大吾 (札幌市立拓北小学校)
- 副部長 森實 祐里 (札幌市立星置東小学校)
- 副部長 館内 徹 (札幌市立あやめ野中学校)
- 副部長 石川 早苗 (札幌市立八軒東中学校)
- 庶務部長 小野 博史 (札幌市立中の島小学校)
- 副部長 岩井 久根 (札幌市立太平小学校)
- 広報部長 櫻田 悟 (札幌市立盤溪小学校)
- 副部長 小林 知広 (札幌市立手稲山小中学校)



「TEAM北海道」として研究部がめざすもの

北海道造形教育連盟

研究部長 湯浅大吾

(札幌市立拓北小学校)

"わたし"を創る

～自立と共生の造形教育をめざして～

この北海道造形教育連盟研究主題を全道の会員の皆さんにお披露目したのが、5年前の2009年に開催された第59回全道造形教育研究大会上川・旭川大会で、会場も同じ永山中学校でした。つまり第64回全道造形教育研究大会上川・旭川大会は、6年目を迎える現研究主題の下で、2回目の開催となるのです。この研究主題の設定に関わった者としては、大変感慨深いものがあります。

5年前に永山中学校で研究主題説明をした際、研究部がめざすものとして3つの提案をしました。一つ目は、北海道の「美術教育支援」。二つ目は、2年後に迫っていた『全国図画工作・美術教育研究大会in北海道』に向けた、「TEAM北海道の力の結集」。三つ目は、各地区の実践を通じた「研究主題の更新」です。

二つ目については、提言発表者や助言者など20の分科会の運営などで、東日本大震災などで出た欠員を補うことも含め、北海道の皆さんの力を借りて無事に乗り切ることができました。心から感謝申し上げます。

三つ目「研究主題の検証」についても、3年目の中間の検証を『全国図画工作・美術教育研究大会in北海道』で全国の先生を対象に行いました。また、5年目のまとめの検証を、昨年行われた第63回全道造形教育研究大会石狩大会で行い、継続が決定し今日に至ります。

そして、今年度からは、一つ目の「美術教育支援」に重点をおいて取り組んでいきます。

「美術教育支援」については、ネットワーク会議では以前から話題になっていました。正式に全道造形教育研究大会開催の目的に設定したのは、2008年の『第58回いしかり・北広島大会』が初めてでした。その後、翌年の2009年『第59回上川・旭川大会』にも引き継がれ、『第63回石狩大会』、そして今回

の『第64回上川・旭川大会』にも継承されています。

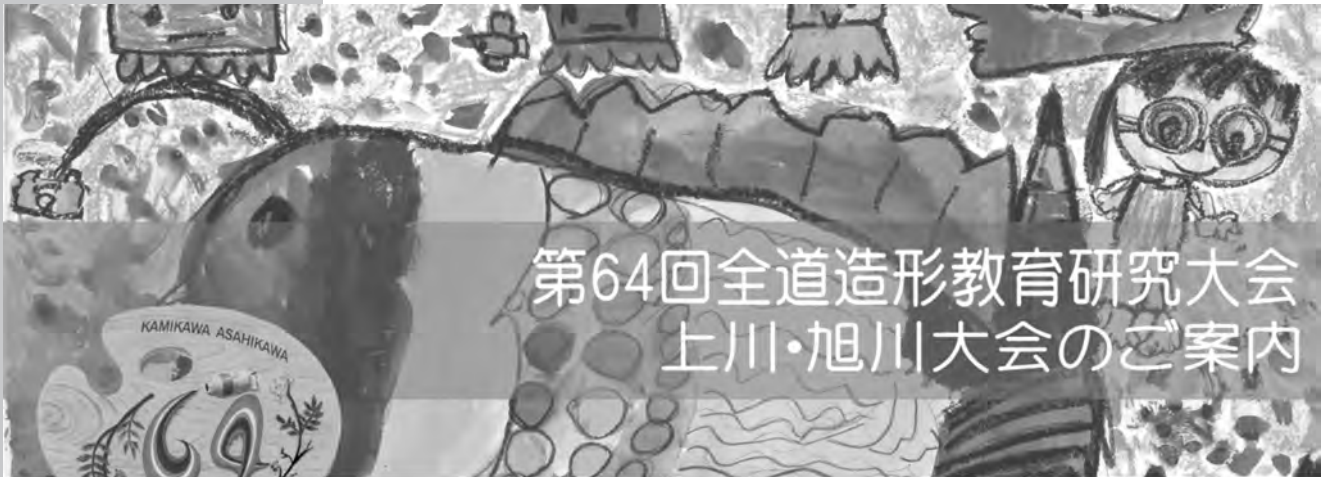
明日の図工や美術の授業どうしよう

この上川・旭川が提唱している問題に、研究部として、二つの側面が含まれていると考えます。

一つは、学校の小規模化に伴い、若い先生や免許外で教えなくてはいけない先生が日常的に相談できる人材が見つかりにくいということです。もう一つは、その頼れる人材バンクたる各地区サークルが、教員養成の再編による美術免許取得機会や採用枠の縮小で後進不足による体力の低下が進んでいるということだと捉えています。

この問題を乗り越えていくためには、人と人とを繋げ仲間の輪を広げていくことが大切だと思います。前回の上川・旭川大会の時、高知県から参加していた先生から、「どうして広い北海道で先生方のネットワークが実現できているのか分かりました。核になる人なのですね。」と言われたのを思い出します。その役割を研究部は重点をかけて担います。

年2回のネットワーク会議やメーリングリストで、支援を必要としている人やグループの情報を集めたいと思います。そして、現地へ出かけ関係作りをしていきます。また、単発の研修会や講演会の参加や運営などに止まるのではなく、日常的に交流のできる仲間になることが最終目標です。それには、TEAM北海道の皆さんの協力無しには実現できません。今後ともよろしく願いいたします。



第64回全道造形教育研究大会 上川・旭川大会のご案内

全道研究主題 わたしを創る～自立と共生の造形教育を目指して

研究テーマ 『「わたし」の喜び』あふれる造形活動

学習指導要領の改訂では「生きる力」を育む重要性が継承され、基礎基本の確実な習得とそれを活用して課題を解決する力の育成が謳われています。

造形教育においては、改訂の趣旨を踏まえて、表現及び鑑賞の活動を通して、児童生徒が感性を働かせながら、つくりだす喜びを味わうようにするとともに、造形的な創造活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養うことが示されています。

今回の大会テーマである『「わたし」の喜び』あふれる造形活動には、「子どもたち一人一人が造形活動を通して得た『喜び』を糧として、自己実現的できた『喜び』であり、一人一人の豊かに『生きる力』となるように」という願いが込められています。

開催日 2014年7月29日（火）

場所 旭川市立永山中学校（※特別支援の受付および授業会場は永山小学校です）
（旭川市永山7条19丁目）

参加費 3,000円（※当初お知らせしていたよりお安くなりました！）
※お支払いはコンビニで！

大会のポイント！

公開授業

- 多彩なニーズに応える授業16本
小学校5本、中学校5本
幼稚園4本
高校1本
特別支援1本
- 完全に1時間ずらして各授業を
しっかり見ることができる日程
- 小中のつながりを意識した授業
構成と提言

造形まつり in 全道造形

- 免許外や新卒で困っている先生方
にも応える、すぐ役立つ、授業の
ヒントになる多数の題材ブース
- 多彩なブースを展開！
・チーム北海道ブース13本
・地域連携ブース
・アートキャンプ in 北海道
・業者ブースなど

造形教育を語る集い

- 造形教育を語る集いⅠ
北海道立旭川美術館で「美術館と
の連携」に関する実践紹介。
- 造形教育を語る集いⅡ
美術館でのレセプション。
楽しいひとときを過ごしてみませ
んか？

すぐにアクセス！▶

第64回全道造形教育研究大会上川・旭川大会webサイト（申し込みもネットでもできます！）

造形Online <http://zoukeionline.web.fc2.com/>



スマートフォンやタブレットはこちら▲

造形 Online



で検索！▶特設サイトへ（随時更新中！）

大会日程

受付	開会式	研究こころ	授業①	授業②	造形まつり in 全道造形 昼食	分科会	移動	美術館鑑賞	造形教育を語る集 いⅠ	造形教育を語る集 いⅡ (レセプション)
9:00		10:00	11:00	12:00	14:00	16:00	17:10	18:00		

		授業① (1校時)			授業② (2校時)			分科会	
分科会名	年	題材名 (領域)	授業者	年	題材名 (領域)	授業者	提言者	助言者	
幼稚園	年長	海の世界ヘレッツ ゴー!	阿部 清香 (旭大附属幼)	年長	あったらいいな こんなすいぞくかん	井手 愛 (くりの木幼)	藤林 園絵 菅井 菜緒 (旭大附属幼)	奥村 茂樹 (めばえ幼稚園)	
		虫の世界ヘレッツ ゴー!	生駒知絵梨 (旭大附属幼)		ぼくたちわたしたち のみらいタウン	川森 恵未 (くりの木幼)			梅田 楷宗 (くりの木幼)
小中表現A	小1	すなや つちと なかよし / ねんどで (造)	小川 雄平 (東光小)	中1	だいじな宝箱(工)	澤田 克之 (東明中)	中村 靖 (東陽中)	阿部 宏行 (教大岩見沢校)	
小中表現B	小1	なにに なるかな (造)	西永 円 (末広北小)	中1	自然からのイメ ージを広げよう(立)	桑村美由紀 (附属中)	山岸 和子 (広陵中)	西岡 裕英 (道立教育研究所)	
小中鑑賞A	中1	想像美術館 (鑑) ※iPadでの鑑賞	山田 幸子 (神居中)	小5	アートレポーター になって (鑑)	栗林 友恵 (神居東小)	加藤あかね (明星中)	花輪 大輔 (教大札幌校)	
小中表現C	小6	想像のつばさを 広げて (絵)	木村 文香 (鷹栖町立北野小)				永井 真二 (鷹栖町立鷹栖中)	工藤 雅人 (留萌教育局)	
	中1	最高に ○○な顔 (絵)	藤原 賢 (富良野市立樹海中学校)						
小中鑑賞B	小3	彫刻巡回展示 出前授業 旭川の彫刻家展～ 具象と抽象～(鑑)	渡辺 悟史 (附属小) 他	中2	彫刻巡回展示 出前授業 旭川の彫刻家展～ 具象と抽象～(鑑)	川原 潤 (永山中) 他	名達 英詔 (教育大学旭川校) 平 利弘 (旭川美術館)	泉 大吾 (宗谷教育局)	
特別支援	小特支	見立てて、 ふれて、 広げよう (造)	松本 敏治 若木 博幸 吉田 梨江 (永山小)				松本 敏治 (永山小)	中澤 孝仁 (釧路教育局)	
高等学校	高1	コマ撮リアニ メーション (視)	板谷 論使 (北海道旭川北高等学校)				河野 昌一 (旭川凌雲高校)	南部 正人 (教大旭川校)	

※30日(水)には、アートキャンプ in 北海道が行われます。ぜひ、ご参加いただきますようお願いいたします。

お申し込みについて

二次案内に添付されている申込書または、造形Online (<http://zoukeionline.web.fc2.com/>) から申込書をダウンロードしFAXでお申し込みください。また、造形Online上から直接申し込みいただくこともできます。後日、近畿日本ツーリストから振込用紙と受付用バーコードが送付されます。

上川・旭川大会事務局<連絡先>

〒078-8233 旭川市豊岡3条1丁目
(旭川市立光陽中学校 内)
 事務局長 吉野 法行
 TEL 0166-31-9177(学)
 FAX 0166-31-9178(学)
 e-mail zoukeionline@gmail.com

Trekking to あるきかた

上川・旭川大会のすごさと見どころ

アナライズ

大会コンセプト 「明日からの図工や美術の授業をどうしよう？」

が、この研究大会に参加すると…

		深める研究		広げる研究		深める研究		広げる研究	
受付	開 会 式	研究 こ し こ で	授業①	授業②	造形まつり in 全道造形 昼食	分科会	移 動	美術 館 鑑 賞	造形教育を語る集 いⅠ 造形教育を語る集 いⅡ (レセプション)

小学校5本、中学校5本、高校1本、幼稚園4本、特別支援1本、合計16本の授業公開は、はっきり言って全国大会並みです。2011年の全国大会でも幼稚園は2本、高校は授業を打てなかったのですから、すごい一言です。

8つの提言と分科会。そして、北海道が誇る豪華な助言者の陣容。こちらも正に全国大会級。

旭川が全国的に注目されている真髓、美術館と大学と学校の連携、「地域連携アートプロジェクト」のなせるわざ。これも全国で、いや世界でここだけではないでしょうか？なんと美術館の中でお酒を飲みながら、美術教育について語り合えるのです！

研究の説明を聞いてから授業を見るというスタイルを始めたのは、2008年第58回いしかり・北広島大会で、以来多くの大会で取り入れられています。全国大会でも採用しました。

上川や旭川はもとより、札幌、石狩、空知、留萌、函館、釧路、オホーツク、帯広・十勝と正にオール北海道による全道大会。理想とするこれからの大会の方向性を示しています。これなら小さな町など、どこの地域でも全道大会が開催可能です。

「明日からの授業に力がわいてくる」こと間違い無し

会費3,000円も財布にやさしく参加しやすい！

造形まつり in 全道造形

【お礼】 一次案内、二次案内の発送および、造形まつり in 全道造形に際して、たくさんの地区サークルからの協力をいただいております。この場をお借りして、お礼申し上げます。当日は、どうぞよろしくお願いいたします。

No	題 材 名	内容概要	所 属
1	モノタイプ (版画)	5分でできる版画です。塩ビ板と黒インクで不思議な模様を作ります。	
2	木の実ホイホイ	どんぐりや、松ぼっくりなどの自然素材を使い、手軽にできる工作を紹介します。誰でもホイホイと簡単にできますよ。	旭川市教研図工美術部
3	チョーク刻	チョークを彫刻します。なんと！アクリルケース付きます！	
4	あなたもデザイナーになるう!!	様々な種類の紙にデザインし、組み立てることで、テキストデザインとものの形を楽しみましょう！幼・小・中〜どこでも使える教材開発です！	上川造形教育研究会
5	造形さんまい札幌店	授業のネタになる“素材”を「お客さん」に提供します。授業の概要を「お土産」としてもって帰っていただきます。	札幌市造形教育連盟
6	指導実践のトピラ	日々の実践の様子と、指導案から、今後に生きる様々なヒントに出会えます。	
7	石狩造連出張販売所	DVD販売、過去の作品集を販売します。	石狩造形教育連盟
8	流し込みスタンドグラス	木枠にガラス片や砂などを敷き詰め、FRP樹脂を流し込みます。	空知美術教育研究会
9	サンセット王国!! るもいのビーチ出現	地域素材の再発見を合言葉に、体育館にオロロンラインの砂浜を出現させます。ビーチコーミングで出現した素材を使った作品の制作と記念撮影をします。	留萌地方美術教育研究会
10	コマ撮りアニメーション作品上映会	コマ撮りアニメーションの作り方についてのレクチャーや実際に作成したコマ撮りアニメーションを鑑賞します。	函館市美術教育研究会
11	ペキタ工作広場 in 旭川	釧路市立美術館で、子どもを対象に開催している「ペキタ工作広場」が旭川に出張します。簡単な工作を自由に楽しむことができます。「ペキタ」も登場予定！ペキタグッズの販売もあるかも!?	釧路造形教育研究会
12	オホーツク発 世界で1つ! MY絵本SHOP!!	ミニ絵本の制作をします。世界に1つだけの絵本をつくりましょう!	オホーツク造形教育連盟
13	子どもと作ろう! 学校を楽しくするかざり	校内行事の壁面飾り、胸花づくりをします。	帯広市教育研究会図工美術部会&十勝造形サークル
14	彫刻巡回展示出前 授業 in 全道造形	授業①、②でお見せした「彫刻巡回展示出前授業」を実際に体験できます。	旭川地域連携 アートプロジェクト
15	歴代都図研会長たちが おくる 痛快☆図工・美術のお悩み相談所	①鈴石弘之先生による講話 ②参加者が持参した児童・生徒の作品について、鈴石先生・矢木先生・辻先生が児童・生徒へのアプローチ方法や授業改善へのヒントをアドバイス。日頃の授業で悩んでいること、その他質問にも対応いたします。依頼人以外の方の見学もOKです。	アートキャンプ in 北海道

釧路造形教育研究会活動紹介

北海道教育大学附属釧路中学校 更科 結希

釧路造形教育研究会は5月の総会を終え、今年度の活動をスタートいたしました。7月には実技研修会、11月に講師を招いての実技研修会、造形教育展の開催、1月には講演会など昨年度よりも活発な取り組みになる予定であります。そして、旭川大会の造形まつりでは釧路市立美術館とコラボレーションしたブースを出店予定です。



H25実技研修会の様子

ぜひお立ち寄り下さい。釧路は、フットワークの軽い事務局を中心に様々な活動に挑戦し続けたいと考えております。これから、数年後に開催する全道大会に向けての取り組みも徐々に始まります。北海道の皆様と協力しながら、北海道の美術教育を盛り上げるべく力になれるよう努力して参りたいと思います。



H25釧路造形教育展の様子

第41回北海道教育美術展

作品募集のお知らせ

応募の対象

☆道内の保育園、幼稚園、小学校、中学校に在籍する園児、児童、生徒

応募の規定

☆絵画や版画、デザイン画などの作品で学校（園）を窓口として応募する。

☆大きさは四つ切りとする。それ以下の作品は四つ切りの台紙に貼る。ただし中学校については八つ切りの作品でも受け付ける。

☆今年度内に作成された作品で一人1作品の出品とし、作品裏面に応募票を貼る。（応募票は剥がれ落ちないようにしっかりと固定してください。）

～作品規定～

- 積み重ねてもつぶれない、かさばらないこと
- 接着が頑丈で剥がれたり外れたりしないこと
- 画鋏展示ができる重量であること

問い合わせ 札幌市立中央小学校 八田博之
TEL : 011-261-6568 FAX : 011-261-5723

◇審査研修会と一緒に参加しませんか？◇

12月27日（土）、28日（日）の二日間、札幌市立札幌小学校で審査研修会が行われます。例年、札幌市内の先生方はもとより、各地区サークルからもたくさんの先生方が審査研修会に参加されています。全道から集まった2万点近くの作品を見ることを通じて実践について研修し合う絶好の機会です。

締切・送付先

☆平成26年12月17日→締め切りを過ぎたものは受付できませんのでご注意ください。

☆〒007-0861 札幌市東区伏古1条2丁目1-31

札幌市立札幌小学校 北海道教育美術展係 宛

北海道教育美術展

会期：平成27年1月9日（金）～13日（火）

会場：道新ぎやらりー（札幌市中央区大通西3丁目）

○主催：北海道造形教育連盟・北海道新聞社

○後援：北海道教育委員会

○協賛：サクラクレパス・RISO



あ と が き

今年は例年のない暑さに悩まされた5・6月でしたが、みなさまいかがお過ごしでしょうか。これからは、山の緑と、空一面のすっきりした青が素敵に和む季節となります。「北海道のステキさ」を体全体で感じる季節とも言えます。

さて、今年度の幕開け、また新体制のスタートともなる138号を発行いたします。今年はぜひみなさんで『いざ旭川へ』。ワールドカップ同様、ボールを『アート』に変え、授業に、研修に、皆さんで思いをぶつけあいましょう！皆様にお会いできるのを楽しみにしています。

最後に、連盟報発行にあたり、快く原稿執筆にご協力いただいた方々に感謝申し上げます。

<北海道造形教育連盟 広報部> 小林 知 広・櫻 田 悟・松 本 和 彦